

町の考え方を問う

一

般

問

6月定例会では、観光問題・環境問題など、町政全般へ9名21項目にわたり質問がありました。なお、質問者及び質問項目は、左の表のとおりです。

- 村上 東司 (P3)
 - ・ 高速道路無料化に伴う観光振興策について
- 村野 由紀子 (P4)
 - ・ 箱根町の中国人観光客誘致の取り組みについて
 - ・ 教育旅行の推進について
- 川端 祥介 (P4)
 - ・ 人件費・時間外勤務手当について
 - ・ 貸金業法改正と箱根町の対応について
 - ・ 寄木細工の現状と課題について
- 小川 鶴雄 (P5)
 - ・ 公共施設の見直しについて
- 稲葉 親太郎 (P5)
 - ・ 今後の行財政運営について
 - ・ 屋外広告看板について
 - ・ 公共マナーをインターネット発信することについて
- 勝俣 剛一 (P6)
 - ・ 老人福祉・独居老人対策について
 - ・ 通信高校誘致について
 - ・ 誘客宣伝事業について
- 石川 栄 (P6)
 - ・ 町道の整備について
 - ・ ゴミの分別収集について
- 遠藤 秀則 (P7)
 - ・ 宮城野上河原地内道路整備事業について
 - ・ ニノ平の通学路について
 - ・ 宮城野地内通学路について
- 山田 和江 (P7)
 - ・ 平和行政の推進について
 - ・ ごみ行政について
 - ・ お年よりのための腰かけ(ベンチ)の設置について

観光

高速道路無料化に伴う観光振興策について

Q 国土交通省による高速道路無料化の社会実験対象路線として県内では新湘南バイパス、西湘バイパス、箱根新道が設定されている。

これら路線は首都圏からの観光客を迎える重要路線であり、観光客増加につなげるものとしていく必要があるが、観光振興にどのようにつなげていくか伺う。

A 箱根新道が無料化となることにより、東京方面からは、箱根新道を利用し直接、芦ノ湖・大涌谷方面へ向かう観光客や、沼津方面から箱根新道を利用し箱根湯本へ向かう観光客が増える一方で、他の観光地に向かうため、それぞれ通過してしまうのではないかと心配もある。

現在、高速道路は、土日・祝日に普通車以下のETC搭載車の料金を「上限千円」とする割引を実施しているが、当町を含む近隣の観光地では千円の効果は相反しており、上限千円割引が廃

止されれば当然近場の観光地を選ぶ人が増え、無料化を契機に多くの観光客を望めるものと期待している。

そこで、質問の観光振興策であるが、これまでも自家用車を利用する観光客をターゲットに、東名高速道路海老名サービスエリアで観光PRを実施し、かなりの効果があったので引き続き実施するとともに、今年度は、特に高速道路料金の変化に対応するために、東京方面にも観光PRを実施していきたいと考えている。いずれにしてもこれから高速道路無料化の社会実験が始まるわけなので、その結果を見て、どのような効果があるのか判断していく。



箱根新道料金所